

2025年9月8日

C/CGR-JP-2025-14

2024年に竣工した新本社兼研究開発施設

## ボッシュ、第38回日経ニューオフィス賞「経済産業大臣賞」を受賞

- ▶ 公民連携プロジェクトへの取り組みや、大胆なグリーンの採用、製品展示などを通じた愛着を形成する仕掛けが評価
- ▶ 東京・横浜に点在する拠点を集約し、国内の研究開発体制をさらに強化
- ▶ ボッシュとして世界初となる公民連携プロジェクト
- ▶ Bosch Forum Tsuzuki : 2025年9月より全天候型広場（愛称：「プラッツ（Platz）」）の貸出開始

横浜ーグローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーであるボッシュの日本法人、ボッシュ株式会社（本社：神奈川県横浜市都筑区、以下 ボッシュ）は、2024年に竣工した新本社がこのたび、日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会（NOPA）が主催する第38回日経ニューオフィス賞にて、「ニューオフィス推進賞」ならびに「経済産業大臣賞」を受賞したことをお知らせします。

日経ニューオフィス賞は、「ニューオフィス」づくりの普及・促進を図ることを目的とし、創意と工夫をこらした快適で機能的なオフィスを表彰するものです。ボッシュの新本社は、「ニューオフィス推進賞」のみならず、ニューオフィス推進賞受賞オフィスのうち1件のみに贈られる「経済産業大臣賞」を受賞しました。

\*応募総数：148件

評価ポイントは以下の通りです。

- 公民連携プロジェクトで、自社拠点と地域施設を一体化し、地域活性化へ貢献
- アトリウムの大型グリーンウォールやオフィス内の植栽など本物の植物を大胆に採用
- 1階コーポレート・ショールームを初めとした製品展示で会社への愛着形成に寄与

ボッシュ株式会社の代表取締役社長を務めるクリスチャン・メッカーは、受賞に伴い次のように述べています。「このたび、経済産業大臣賞を受賞したことを大変嬉しく思います。新本社は、従業員同士のコラボレーションを促進するオープンなオフィス設計を採用しており、世界中のボッシュ拠点の中でも最も素晴らしいオフィスだと自負しています。この新本社は、ボッシュがこれからも長きにわたり、日本に貢献するというコミットメントの現れです。」

### **事業部を超えたコラボレーションを活性化するオフィス設計**

ポッシュは本社移転に伴い、東京・横浜エリア8拠点に点在していた事業部およびグループ企業に在籍する約2,000人の従業員を新社屋に集約しました。新本社は、同じ横浜市都筑区牛久保にある既存の研究開発施設から約2キロメートルの場所に位置しており、これらふたつの施設にポッシュ・グループ全体の4割以上の従業員が集約されています。これら2拠点における事業部間での協業や連携が促進され、新本社は国内における研究開発体制のさらなる強化に貢献しています。

新本社は、事業部を超えたコミュニケーションが活性化するように設計されています。オフィスエリアは、従業員が目的に応じて働く場所を選べるよう、「コミュニケーション・ゾーン」、「アジャイル・ゾーン」、「インディビジュアル・ゾーン」の3つのゾーンに分かれています。また、建物内には「パーティカルコネクション」と呼ばれる吹き抜けが2か所設けられ、従業員がフロア間を行き来しやすい縦のつながりも創出されています。

### **地域に開かれた「Bosch Forum Tsuzuki」：地域のにぎわいづくりに貢献**

ポッシュは2018年、「横浜市都筑区における区民文化センター等整備予定地活用事業」における事業者として横浜市から選定され、ポッシュとして世界初となる公民連携プロジェクトを開始しました。その成果として、2024年9月にポッシュの新本社および都筑区民文化センター（愛称：ポッシュホール）を竣工しました。竣工と同時にオープンした本社1階のcafé 1886 at Boschは、地域に根付いたカフェとして日頃から多くのお客様で賑わっています。また、2024年11月には、ポッシュは横浜市都筑区と[「地域活性化に関する包括連携協定」](#)を締結し、ポッシュの本社、ポッシュホール、両施設間に位置する全天候型広場の一部を「Bosch Forum Tsuzuki（和名：ポッシュ・フォーラム・つづき）」と命名し、地域のにぎわいづくりにつながるさまざまな施策を行っています。さらに全天候型広場は、愛称「プラッツ（Platz）」として、2025年9月1日から[一般利用を開始](#)しています。

ポッシュ株式会社フュージョンプロジェクト推進室（新本社兼研究開発施設建設事業）シニア・ゼネラル・マネージャーの下山田淳は、「今回の受賞を大変光栄に思います。2018年に新本社の建設が決定してから長きにわたり、ポッシュとともに建設に携わってくださった皆様に心より感謝申し上げます。ポッシュの本社は、一企業のオフィスという役割だけではなく、Bosch Forum Tsuzukiとして地域住民に開かれた空間を提供しています。今後も横浜市都筑区と連携し、さらなる地域の賑わいづくりに貢献していきます」と述べています。

### **報道関係対応窓口：**

古市、浄土寺

電話：045-605-3010

### 日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ㈱、ボッシュ・レックスロス㈱、その他の関係会社から構成されます。ボッシュ㈱は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。2024 年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約 4,280 億円で、従業員数は約 6,300 人です。

### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024 年の従業員数は約 41 万 8,000 人（2024 年 12 月 31 日現在）、売上高は 903 億ユーロ（約 14.8 兆円\*）を計上しています。ボッシュはモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 つの事業領域を展開しています。事業を通じて、自動化、電動化、デジタイゼーション、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することを目指しています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化と AI に関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 490 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 136 の拠点で約 8 万 7,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

\*2024 年の為替平均レート、1 ユーロ = 163.8354 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス（英語）

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式 X（ドイツ語）

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト（日本語）

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式 X（日本語）

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック（日本語）

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube（日本語）

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン 公式 LinkedIn（日本語）